

Book Review



若い歯科医師の疑問に答えます Q&A 70

武藤晋也 監修

● ● ●

Reviewer

武田孝之

(東京都・武田歯科医院)

B5判, 192頁
定価 7,350円
(本体 7,000円+税 5%)
医歯薬出版刊



私たちの生活に今や欠かせないツールとしてコンピュータがある。

いわゆるパソコンと呼ばれるコンピュータを、一般の人々が使えるようになった20年程前は、購入すると分厚い説明書が添付されていた。当初はワープロ（ワードプロセッサ）、画像処理、表計算を専門に行ってきた専門性の高い分野の利用者が多かったが、それでも大半の購入者は、使い始める前に、多岐にわたる説明書のすべては読破できなかったと聞く。

自分の使用当初を振り返ってみても、問題に直面すると説明書を片手に大変な思いをしたことを鮮明に思い出す。問題解決に該当する説明を見つけれられないこともあり、また、見つけても合点がいかず、結局、コンピュータの取り扱いに長けた友人に助けをもらいながら使用してきた苦い経験の連続である。

最近では、新しいコンピュータを購入しても、説明書は極めて薄く、読む必要もないほど基本的な事項が記載されているにすぎない。使用するうえで問題がなくなったわけではないが、

迷ったときには、「HELP」をクリックするとただちに関連する頻度の高い問題が列記され、説明書を読むよりも簡単に解決できるようになってきた。使用者側の利便性を優先した改良によって、コンピュータの初心者であっても、直面した問題に容易に対応できるようになり、無駄な時間を過ごすことが少なくなってきた。

この構図は、一見、歯科書籍における教科書（成書）とQ&Aタイプの手引書に類似している。では、武藤晋也先生の監修による本書は、臨床における「HELP」の役目に止まるのであろうか。確かにその側面もあるが、類似本とは異なる監修者、筆者の思いが本書からは感じられる。

コンピュータの「HELP」機能と異なると感じるゆえんは、対象の違いを本書が明確に意識しているところにある。すなわち、コンピュータは画一的に製造された機械であるため、問題と解決策だけあればそれで十分であるが、人間を相手にする歯科臨床では、それほど問題は簡単ではない。にもかかわらず、従来、この種の本は、問題

とその解決策に留まる傾向にあった。しかし、目の前の患者さんは今、生きており、これまで生きてきたゆえに現症という問題を抱え込んでいるのである。問題の発生原因を探らなければ適切な診断、治療方針を立てられない。「疾病に対する診断」、「機能障害における評価」は科学的に裏付けされたものでなければならず、同時に臨床経験も必要とするが、本書では若い歯科医師の理解度を高めて技術論だけに終始しないように配慮されている。

患者さんの抱える問題、背景はさまざまであり、経験を積んだ歯科医師であっても臨床の現場では計画通りに治療が進まないこともままある。とりわけ、卒後まもなく経験も浅い歯科医師はその若さゆえに患者さんの信頼を得ることも難しく、さらに、技術的にも稚拙であるため毎日が試行錯誤の連続ともいえる。「若い歯科医師の疑問」と表題にあるが、実際にはすべての年代の歯科医師にとって、患者負担の少ない適切な診断、治療をするために役に立つ一冊である。ぜひ、手にとってみたい。